

## 歩道の維持管理作業（補修等）作業計画に対する

### 登山道技術指針運用・活用ワーキンググループ意見（事務局まとめ）

愛山溪温泉イズミノ沢、橋の設置

計画者：北海道山岳整備 担当：岡崎 哲三

事務局受付：令和元年9月3日

#### （管理者との関係、設置した橋の管理について）

○今回の補修については、（歩道の通行に係る根幹的な部分なので）管理者が行うべきことと思います（愛甲委員）。

…その通りと思いますが、今回はおそらく何も言わなければそのままになっていた事案だと思います。

歩道管理者（上川総合振興局）からも「タダでやってくれとは言い難いので頼めない」と言われ、ではこちらがやるから一緒に作業してくれとお願いしてできることになりました。

平成27年度以前の行政担当者（上川総合振興局、上川自然保護官事務所）の時も流された鉄橋はそのまま、川にロープを渡すだけという施工になっていました。日々登山者と顔を合わせる身になれば、皆がどれほど苦労して通行しているかを知っているのを見過ごしたくありませんでした。

また、管理者である行政側も手弁当で作業する場合がありますが、皆さんは整備屋ではなく事務屋さんです。整備方法や技術、アイデアがあるわけではありません。こちらは事務は出来ませんが、整備方法やアイデアはたくさんあります。役割分担したいものです。

現場に近い管理者の権限が少ないのであれば、民間もできることをしていけるような仕組みを作り、行政も気軽に？こちらに相談できるようにならねばならないと思います。

頼みにくいから登山者に苦労させるというのは間違っていると思います。

責任の所在や、本来であれば…ということだと理解していますが、しっかりやると何もできないという破たんしたシステムではどうしようもありません。

○完成後の橋についても、大雪山グレード2であることを踏まえ、その安全性を誰がどのように担保するのか、関係者でよく議論した方がよいと思います（愛甲委員）。

…皆さん、お願いいたします。

#### （鉄橋の再利用について）

○倒木を利用したかけ直しについて賛成です。一方、鉄の橋は強度もあるため直したいという思いがあります。現地で橋を見ますと部品を現地で組み立てているように見受けられましたので、もしそうであれば、一度橋をばらして、補強の鉄材を入れてボルトで固定することはできないかと思いつきましたので、簡単ではないことは承知していますが提案させていただきました（三木委員）。

…現場の鉄橋をよく見てもらうとわかりますが、6mの一本物の鉄鋼が2本使われており、その2本が曲がって再利用できません。また、曲がったボルトを取り外す作業は大変苦労しますし、おそらく同じものは使えません。補強の鉄材は6mものが必要になり、その他のボルトや接続パーツもどのくらい現物が使えるかわかりません。それを考えると付近には太い倒木がまだ数本あり、それらを活用したほうが簡単です。施工は技術あれば3人でも3時間あれば終わる程度です。また、施工技術は使うほどに熟練度が上がります。熟練度がある技術者を作るほうが山のためになると思っています。

す。鉄橋は今後撤去するべきと思いますが、手伝っていただければと思います。